

【片岸町地区】

整備手法 ▼被災市街地復興土地区画整理事業
施工面積 ▼約22・7ヘクタール

水門 (標高)14.5m
 防潮堤 14.5m ※現況防潮堤高さ標高6.4m (約8.1mかさ上げ)
 産業系用地として活用
 住宅地 JR山田線より西側へ配置

JR山田線
 国道45号 かさ上げ、線形改良 拡幅
 避難路(横軸): 避難所孤立防止の連絡路

復興まちづくりの取り組み状況

地区名	着工時期 (着工)	完了時期 (予定)
片岸	平成25年11月	平成31年3月
鵜住居	平成26年4月以降	平成27年3月 (室浜・根浜地区)
室浜		平成28年3月 (桑ノ浜地区)
根浜	平成25年12月	平成28年3月
桑ノ浜		
箱崎	平成25年12月～	平成28年3月 (東部地区)
箱崎白浜		平成31年3月 (嬉石松原地区)
両石	平成25年12月	平成31年3月 (平田地区)
東部		平成27年3月 (尾崎白浜地区)
嬉石松原	平成25年12月	平成27年3月 (佐須地区)
平田		平成27年6月 (本郷地区)
尾崎白浜	平成25年12月	平成28年3月 (小白浜・片岸地区)
佐須		平成27年3月 (荒川地区)
本郷	平成25年12月	平成28年3月 (大石地区)
唐丹		
荒川	平成25年5月	平成25年8月 (住宅団地)
大石	平成25年5月	平成27年3月 (水産業用地)
花露辺	平成26年2月予定	平成26年8月
仮宿		

市は昨年、住民の皆さんの合意をいただき、被災21全地区の復興まちづくり事業に着手しました。今後の本格復興に向け各地区において、防災集団移転促進事業や被災市街地復興土地区画整理事業など、一日も早い完了を目指し工事を進めていきます。昨年、11月12月に各地区で開催した地権者連絡会と復興まちづくり協議会の説明概要として、市街地の取り組みを中心にお知らせします。

被災地区のまちづくりについて vol.1

【鵜住居地区】

整備手法 ▼被災市街地復興土地区画整理事業、津波復興拠点整備事業
施工面積 ▼約49・1ヘクタール

スポーツ・レクリエーション施設 津波被災・メモリアルパーク等
 津波の避難拠点となる 小学校・中学校を中心としたまちづくり
 避難路(横軸): 避難所孤立防止の連絡路
 JR山田線 かさ上げはせず 鉄路復旧を目指す
 国道を走りやすく 線形見直し
 公共施設の再配置
 駅前から国道沿道は 商業・事業所エリア
 鵜住居川河口に水門とセツトで防潮堤を設置 整備高さ14.5m ※現況防潮堤高さ標高6.4m (約8.1mのかさ上げ)

【東部地区】

整備手法 ▼津波復興拠点整備事業(大町・東前町の一部かさ上げ、道路整備など)、漁港施設機能強化事業(浜町・新浜町の一部かさ上げ、道路整備など)、社会資本整備総合交付金事業(グリーンベルトの整備)

避難路(縦軸): 直感的に逃げられるようデザインを工夫
 避難路(横軸): 避難所孤立防止の連絡路
 商業機能集約・大型商業施設【フロントプロジェクト1】
 震災の教訓を活かした 新市役所庁舎【フロントプロジェクト2】
 魚の賑わい機能【フロントプロジェクト3】
 新魚市場
 浜町・東前町のかさ上げ 最大で7m程度
 湾口防波堤の復旧
 中番庫地区へのアクセス道
 大町・只越町のかさ上げ 最大で60センチ程度排水施設を組み合わせ排水対策
 グリーンベルト 標高8m
 防潮堤かさ上げ 標高6.1m
 水門 標高6.1m